



ALBA 新聞～希望の夜明け～

No.31 2022/12

街角のツリーに灯りがともる今日このごろ、
今年もいよいよ押し詰まってまいりました。
年末はゆっくりと過ごしたいですね。(T・A)

ALBA 新聞はアルバの利用者が作成しています。



サンタクロースの起源

サンタクロースの由来は、4世紀頃に東ローマ帝国小アジアのミュラ（現在のトルコ）に実在したカトリック教会司教の聖ニコラウスという説が一般的です。彼は日頃から困っている人や貧しい人を助け、自分の持ち物を惜しまず与えていた心の優しい人でした。

あるとき、3人姉妹がいる貧しい家族が生活に困窮していたため、3姉妹を身売りしなければならないという話を聞き、聖ニコラウスはその夜、その家の煙突から金貨を投げ入れました。金貨は暖炉のそばに干してあった靴下の中に入って、そのお金で娘は身売りしないで済み、後に結婚することができました。聖ニコラウスは、同じことを下の2人の娘のときも繰り返し、その家庭を救ったと言われています。

この伝説によって、クリスマスに靴下を下げると、サンタクロースが夜中に煙突から入ってプレゼントを入れてくれるという習慣が生まれたと言われています。

聖ニコラウスはオランダ語で、「ジントークラース」と言い、それがなまって「サンタクロース」になったと言われています。

(K・T)

発熱インナーの仕組み

各社、様々な“発熱（あったか）インナー”を出していますが、基本的な仕組みは同じです。

その仕組みは、人体から出る湿気（水分）を熱に変える【吸湿発熱】です。

つまり、身体が汗をかくと水に変えて発熱する＜凝縮熱＞を素材が上手く保つことで、あたたかい着心地を実現しています。

★吸湿発熱で温かく着る方法★

素材によって水分を保てる量は限られており、発熱は一時的なものです。

基本的には、着用後数分で+2～3℃くらいですので、

なるべく肌にフィットするサイズを選ぶと良いですよ。

冷めたい風が通らないように外からの空気はアウターでしっかりと防ぎましょう。

(T・T)

一年中雪が降っている場所・地域 世界の豪雪都市トップ3は日本！

ニュースの天気予報で、全国の天気図を見ながら「日本海側は、いつも雪だな」と感じたことはありませんか？
実は、日本海側の都市は雪が多いというだけではなく、なんと「世界で最も雪が降る」エリアなのです。

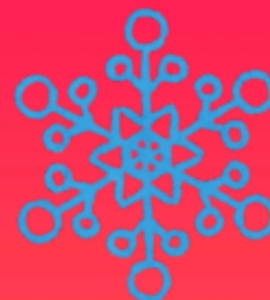
第1位・・・青森市（約7.92m）

第2位・・・札幌市（約4.85m）

第3位・・・富山市（約3.63m）

第4位・・・セント・ジョーンズ（カナダ）（約3.32m）

第5位・・・シラキュース（アメリカ）、ケベック・シティ（カナダ）（約3.14m）



※（）内は10万人以上の都市年間平均降雪量

AccuWeather（アメリカの民間総合気象情報サービス会社）調査

世界には青森市・札幌市・富山市以上に雪が降り積もる場所は存在しています。例えば米ワシントン州のベーカー山などはいい例で、シアトルも近い米ワシントン州に位置するベーカー山は、カナダとの国境にある標高3,285mのリゾート地です。

ベーカー山は世界一雪深い場所として知られていて、同地では1998年から1999年の冬に、降雪量が29.86mを記録したといえます。

しかし、ベーカー山周囲は7,866人しかいないとされています。先ほどのAccuWeatherの調査は、人が多く暮らすエリアにおいて、世界で最も雪が降り積もる場所はどこか、という話です。

青森市の人口は28万人ほど、札幌市は195万人ほど、富山市は41万人ほどです。ちなみに人口31万人ほどの秋田市も、AccuWeatherのランキングで第7位に入っています。

つまり、日本の「日本海側の都市は雪が多い」というよりも、「世界で最も雪が降る」という方が正しいのですね。

(T・T)



12月28日水曜日～1月4日水曜日まで
アルバは冬休みとさせていただきます。



それぞれのSNSでプログラムの様子を見ることができます。
是非チェックしてみてください。1月号もお楽しみに！